

外部評価対象補助金等への意見に対する回答(No.1～No.9番)

番号	補助金等名称	ページ番号
1	農作物等有害鳥獣被害対策防止事業補助金	1
2	農業用廃プラスチック適正処理事業補助金	2
3	故郷ふれあい交流事業補助金	3
4	「暮らしとしての農業」農家創出事業補助金	4
5	果樹生産施設整備事業補助金	5
6	生ごみ処理機等購入費補助金	6
7	保護司会補助金	7
8	特定住宅リフォーム補助金(断熱性能向上リフォーム)	8
9	看護師養成事業補助金	9

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	1
対象補助金等名称	農作物等有害鳥獣被害対策防止事業補助金
所管課	農政課

番号	シート内該当箇所	意見内容	回答	追加資料番号
1	3 補助金等の実績	補助金自体は問題ないと思われませんが、令和5年度予算額が過去2年間より多くなっている根拠はどのようなものでしょうか。	毎年、当初予算は1,500千円を予定させていただいております。	
2	3 補助金等の実績	補助金の申請が、多い年と少ない年があるように感じられます。申請が多い年の理由等について、把握されておりますでしょうか。	はっきりとした理由はわかりかねますが、天候不順により山林で食べるものがない場合や、野生鳥獣の増加等で、農作物への被害が多かった、次年度に対策として補助金を活用する方が多くなるものと推察します。	
3	2 補助金の概要	個別の農地が毎年被害にあっているのでしょうか。現場の状況や結果は、その都度変化するのではないのでしょうか。補助金の対象とならない農家も存在するのではないのでしょうか。	補助金の交付を受けた耕作地につきましては、5年を経過しなければ再申請ができませんので、同耕作地での被害は無いか軽減していると思われまます。 補助金の対象外としましては、自ら所有する農地若しくは農地中間管理事業等において借り受けた農地等でない場合や、防護柵等の延長が100m以下であること、他の補助事業を受けていること、周辺に悪影響(爆音機等)である場合は対象となりません。	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	2
対象補助金等名称	農業用廃プラスチック 適正処理事業補助金
所管課	農政課

番号	シート内 該当箇所	意見内容	回答	追加資料 番号
1	2 補助金等の概要	農業団体が集団回収する形式ですが、農協との接点がない農業従事者へ向けた回収はどのようになっていますか。 また、申請の間口を広げる方策はありますか。	回収日などについては、農協の広報誌などにより行っているところです。 特に農協と接点がない農業従事者の持ち込みであっても受け入れをしているところです。	
2	5 今後の方向性	この補助金と並行して、生分解性マルチの購入補助金を導入して、労力とごみを減らす農業の推進を行ってはいかでしょうか。	佐久市では、第二次佐久市農業振興ビジョン(R4年3月改定)において、国が定めた「みどりの食料システム戦略」と並行して有機農業若しくは減農薬・減化学肥料栽培など環境に配慮した農業生産の推進を図っているところです。 生分解マルチは、土壌中の微生物に分解されるというメリットがある一方、耐熱性・強度が低く価格が高いというデメリットがあります。大規模に長期間作物を栽培する場合において、その資材の使い勝手の状況を踏まえながら、今後研究してまいりたいと思います。	
3	2 補助金等の概要	補助金の意義はあると考えます。むしろ、適切に処理がなされるよう、管理や指導も含める必要があるのではないのでしょうか。	ご意見をいただいた事項は、今後の事業推進・実施の段階で参考にさせていただきます。	
4	5 今後の方向性	制度の創設から18年が経過していますが、環境にやさしい、紙や木材等、代替の原料を研究する事業にも補助を行い、長期的な改善、見直しはできないのでしょうか。また、プラスチックの再利用はできないのでしょうか。	作物栽培に使用するマルチの資材として、プラスチック素材以外にも生分解マルチや紙マルチなどがあります。いずれも耐久性や価格面で課題がありあまり普及していないところです。大規模に長期間栽培する場合において、その資材の使い勝手の状況を踏まえながら、今後研究してまいりたいと思います。 また、プラスチックの再利用についても、国などの機関で研究されているところです。併せて、情報収集して研究してまいりたいと考えています。	
5	2 補助金等の概要	特殊な事情に鑑み、他団体の参入見込みは薄いかと思いますが、参入の余地はありますか。	農業用廃プラスチックの回収を担う機関として、農家への周知・取りまとめなど実施できるのは農協が適していると考えています。	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	3
対象補助金等名称	故郷ふれあい交流事業補助金
所管課	農政課

番号	シート内該当箇所	意見内容	回答	追加資料番号
1	3 補助金等の実績	コロナの影響で利用が進まないとの報告でしたが、補助金開始当初からコロナ前までの10年ほどの、各年度の実績を教えてください。	H22年度 3件、H23年度 4件、H24年度 1件、H27年度 1件、H29年度 1件、H30年度 2件、R元年度 3件、R2年度 3件、R3年度 1件、R4年度 0件 当該事業は、H22年度からH29年度までは移住交流担当の所属で所管し、H30年度以降は農政課で所管しています。	
2	2 補助金等の概要	補助金の意義があると考えます。事業計画等への支援や住民のアイデアを募るなどの周知活動が必要なのではないでしょうか。	当該事業は、「地域資源を活かした農林業体験を通じた都市住民との交流」を目的としており、その取り組みを行う団体、個人に対して補助するものです。事業採択時において、事業内容等が効果的であるかなどを判断しているため、申請者側において事前に把握されているものと考えています。	
3	2 補助金等の概要	「さくっと支援金」などの、まちづくり系の補助金と類似しているように見えますが、単独で補助制度を設置している理由はありますか。	当該事業は、農林業体験を通じた都市住民との交流等を20万円までの範囲で実施する団体、個人を対象とした事業であり、第二次佐久市農業振興ビジョン(R4年3月改訂)に基づき、体験事業を受け入れの中心を担うリーダー育成をねらいとしているものです。 なお、「佐久っと支援金」は、5人以上の団体を対象としており、地域課題を解決するための公益的な活動について、活動内容を限定せず、広くご提案いただくという特徴があります。	
4	5 今後の方向性	どのような周知方法を考えていますか。	佐久市のHP掲載によるものの他、現在農作業体験等に関する取組について関心のある団体等へ直接話をさせていただくなど行っているところです。 今後は、ケーブルテレビや広報誌などの媒体の活用を検討したいと思います。	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	4
対象補助金等名称	「暮らしとしての農業」 農家創出事業補助金
所管課	農政課

番号	シート内 該当箇所	意見内容	回答	追加資料 番号
1	3 補助金等の実績	コロナの影響で利用が進まないとの報告でしたが、補助金開始当初からコロナ前までの、各年度の実績を教えてください。	H30年度 1件、R元年度 2件、R2年度 2件、R3年度 1件、R4年度 0件 事業実施主体は3年以上事業継続可能となっているが、R2年度採択した事業実施主体においてコロナ感染症拡大となったため、R3年度以降の継続をやむを得ず断念した。また新規採択もありませんでした。	
2	2 補助金等の概要	補助金の意義があると考えます。「故郷ふれあい交流事業補助金」と同様、事業計画等への支援や住民のアイデアを募るなどの周知活動が必要なのではなでしょうか。	当該事業は、「市民が農業に触れられる機会を提供する農家を創出する」ことを目的としており、その取り組みについて補助するものです。事業採択時において、市民ニーズに合った事業内容であり農業の多様性を活かされているかを判断しています。	
3	2 補助金等の概要	「佐久っと支援金」などの、まちづくり系の補助金と類似しているように見えますが、単独で補助制度を設置している理由はありますか。	当該事業は、市民向けの農業体験交流等を20万円までの範囲で実施する団体、個人を対象とした事業であり、第二次佐久市農業振興ビジョン(R4年3月改訂)に基づき、体験事業を受け入れる中心を担うリーダー育成をねらいとしているものです。 なお、「佐久っと支援金」は、5人以上の団体を対象としており、地域課題を解決するための公益的な活動について、活動内容を限定せず、広くご提案いただくという特徴があります。	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	5
対象補助金等名称	果樹生産施設整備事業補助金
所管課	農政課

番号	シート内該当箇所	意見内容	回答	追加資料番号
1	5 今後の方向性	<p>3年間行って補助事業の周知を目的とするとのことですが、どの程度周知したのでしょうか。</p> <p>また、周知がそれほどされていない状態であれば、延長、制度の見直し等を行わないのですか。</p>	<p>本事業はJA佐久浅間との連携により、農家のニーズ等に基づき事業化したものであるため、主にJA佐久浅間を通じて、果樹栽培農業者へ周知を行っているところです。今年度の事業採択状況等を見て、追加募集等を図ってまいります。</p> <p>また、事業の期間については、事業創設当時、JA佐久浅間との話し合いによりR5年度で廃止するとしたものであります。</p> <p>本補助金は一旦廃止とした上で、今後、改めてニーズを捉え直し、必要に応じて、新たな制度を創設するなど、検討していきたいと考えております。</p>	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	6
対象補助金等 名称	生ごみ処理機等購入費補助金
所管課	生活環境課

番号	シート内 該当箇所	意見内容	回答	追加資料 番号
1	3 補助金等 の実績	行政のニーズと家庭のニーズがマッチしている素晴らしい補助金だと思います。今後実績の増加が見込まれる中、導入後の評価なども聞いてみたいです。	<p>昨年度購入された生ごみ処理機及び生ごみ処理容器を6年間使用し続けた場合に削減が可能な処理費用は、6,630,000円と想定しています。 ※令和4年度の実績で推計</p> <p>【算出方法】 令和4年度の1世帯(4人家族で推計)あたりの年間の生ごみ排出量は179kgです。 令和4年度の実績から推計すると、生ごみ処理機及び生ごみ処理容器を毎日使用した場合の生ごみの減量化重量は、年間で34tとなります。 ※34tは、処理機及び処理容器の処理能力と補助件数から算出しています。 6年間使用し続けた場合の減量化重量は、204t(=34t×6年)です。 6年間で削減される処理費用は、佐久平クリーンセンターで焼却する場合、約32,500円/tのため、6,630,000円(=204t×32,500円/t)です。</p>	
2	5 今後の 方向性	可燃ごみの減量化は喫緊の課題となっているとのことですが、補助金利用促進の周知方法はどのように考えていますか。	<p>現在の周知方法は、市広報誌や市ホームページへの掲載、ラジオ放送を行っています。 また、佐久市に転入される方には、本補助金について記載されたチラシを配布しています。今後も様々な機会をとらえて周知に努めます。</p>	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	7
対象補助金等名称	保護司会補助金
所管課	福祉課

番号	シート内該当箇所	意見内容	回答	追加資料番号
1	2 補助金等の概要	<p>補助金の意義があると思います。事業報告を見ると、定例的な内容が多いと感じますが、会員数によって補助額が変動することによって、定例の活動が実施できなくなる恐れはないでしょうか。</p>	<p>団体の支出とすると、上部団体への会費が主たる内容となっており、会員数の減員は支出の減額と比例する傾向にあることから、会員数の減少が即座に団体活動に影響を及ぼすものではありません。</p> <p>しかし、保護司数が減少することは、団体の活力としても、保護司という社会における重要な役割の担い手の減少という意味でも、対策していくべき課題と捉えています。上部団体とも協働し、保護司のなり手確保の取組をこれまで以上に強化していくことが望まれます。</p>	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	8
対象補助金等名称	特定住宅リフォーム補助金 (断熱性能向上リフォーム)
所管課	建築住宅課

番号	シート内 該当箇所	意見内容	回答	追加資料 番号
1	4 補助金等の 評価	<p>補助金の意義があると思います。現在は、国・県の補助制度が充実しているとのことですが、他自治体において独自の補助制度があるか把握されていますか。</p> <p>また、今後の状況によっては、市の補助基準を国の方針にあわせた形で、補助制度を再開する可能性はありますか。</p>	<p>・他の自治体の補助制度の把握については、今後の方向性を検討する際、県内他市の状況を確認しております。 (地球温暖化防止対策を目的に対象を絞ったリフォーム補助制度：佐久市を除く県内18市中、2市が実施)</p> <p>・補助制度の再開については、国、県の補助制度の動向等を注視し、必要に応じ検討してまいります。</p>	

外部評価対象補助金等への意見に対する回答

外部評価番号	9
対象補助金等名称	看護師養成事業補助金
所管課	健康づくり推進課

番号	シート内該当箇所	意見内容	回答	追加資料番号
1	2 補助金等の概要	「学生が通学する」または「居住する」ことを考えると、佐久市への経済活動にも貢献できることから、市内の看護学校に在籍する学生への奨学金等についても検討できないでしょうか。	<p>市独自の奨学金制度の創設は、市立病院等における医療従事者の確保のため、県内、一部の市で設けられております。</p> <p>佐久市には二つの看護学校がありますが、「佐久総合病院看護専門学校」につきましては、長野県厚生連の医療機関に就職することを条件として、学生を養成しております。</p> <p>「佐久大学」につきましては、「佐久大学地方創生事業補助金」を交付し、大学による地方創生の取組を後押しするとともに、市との連携協定の締結により、地域の保健・医療の振興等について、引き続き、連携して推進していきたいと考えております。また、佐久大学の学生が卒業後に、地元医療機関へ就職することにより、市内の医療従事者の確保につながることを期待しております。</p>	
2	2 補助金等の概要	なぜ、この特定団体を支援するのでしょうか。佐久医師会を通じてではなく、看護師の育成を直接的に広く支援できないでしょうか。	<p>この補助金は地域医療の担い手である佐久医師会を通して小諸看護専門学校を支援するものです。また、看護師の育成については、小諸看護専門学校だけでなく、上記の通り、佐久市内二つの看護学校においても行われているところです。今後は各所と調整のうえ、より効果的な補助制度となるよう検討をしてみたいと考えます。</p>	